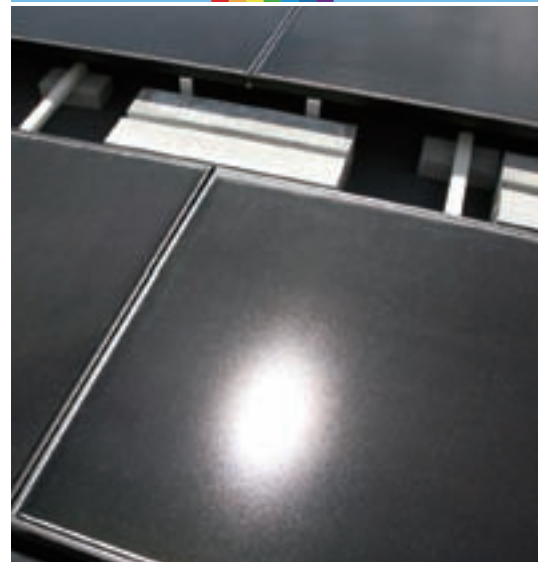
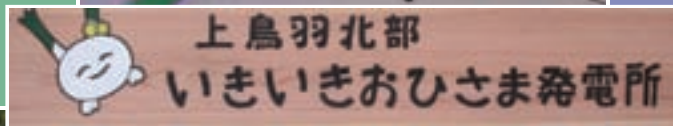
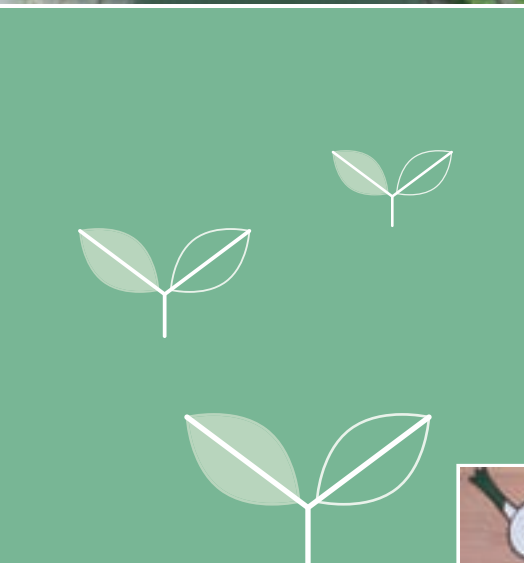


2016年4月5日



上鳥羽北部いきいきに

おひさま発電所ができました。



上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクト

このプロジェクトは、京都市太陽光発電屋根貸し制度に基づいて実施しました。



ごあいさつ

この度、地域の多くのみなさま、認定NPO法人きょうとグリーンファンド様のご協力を得て上鳥羽北部いきいき市民活動センターに「おひさま発電所」の設置を行うことができ、心より感謝しております。

子どもたちが自然エネルギーに興味を持ち、それを通して自然エネルギーの普及と環境活動を地域に広げるため、「京都市太陽光発電屋根貸し制度」に沿って、「上鳥羽北部いきいきおひさま発電所」を設置いたしました。今後も、子どもたちや地域のみなさまの自然エネルギーや環境活動の学びの場として提供してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

京都市中唐戸児童館運営委員会 委員長 前川 勝六

今回の「上鳥羽北部いきいきおひさま発電所」の完成は、これまでのエコ活動を土台として、さらなるステップアップにつながるものと考えております。これを機に当センターがエコに関する情報発信の中心となり、さらに地域の防災拠点及び避難所としての役割が担えるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター センター長 高橋 清司

上鳥羽北部のみなさま、おひさま発電所の完成、おめでとうございます。

京都市太陽光発電屋根貸し制度を活用して、地域のみなさまの活動拠点への設置が実現しました。

私たちの毎日の暮らしは、実は地球の未来に関わります。子どもや孫の時代に思いを馳せれば、他人事とは思えません。今回、地域のみなさまの機運が盛り上がり、上鳥羽北部いきいき市民活動センターでの設置に結びついたことに、心から敬意を表するとともに、そのお手伝いができたことを大変うれしく思います。

「省エネと自然エネルギー利用」をキーワードに、いきセンがエコの発信基地となり、環境にやさしい上鳥羽地域となれますよう、きょうとグリーンファンドもできる限りお手伝いを続けていきたいと思っております。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

認定NPO法人 きょうとグリーンファンド 理事長 板倉 豊

発電所ができるまで ... 2015年 いきセンのエコ活動がはじまりました。

廃油回収



使用済みのてんぷら油は、車の燃料に。

グリーンカーテン



暑すぎる太陽を遮るグリーン。ゴーヤもできるし...

クールシェアスポット



涼しさをシェア。節電でご近所もなごやかに。

夏の夜市

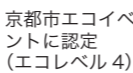


ごみ分別

自治連合会、地域団体とともにごみ減量に取り組みました。



リユース食器（女性会）
冷やしうどんはリユース食器でいただきます。



京都市エコイベントに認定（エコレベル4）

上鳥羽学区が京都環境賞を受賞
ごみ減量をテーマに学区の夏祭りのエコ化や使用済めんぷら油を利用した石けん作りの学習会開催などの活動が認められ、京都環境賞（エコ学区推進賞）を受賞しました。

クリスマス

手回し発電で走るトーマス号。子どもたちも身近な「発電」に夢中。



お餅つき

リユース食器で、ごみはほぼゼロに



創エネチャレンジ



手作りの太陽光発電。さあ、何に使える？

雨水タンク設置



雨の水も自然の恵み。花もグリーンカーテンも子どもたちも、すくすく育つ。

発電所づくり START!!

発電調査



京都市市民協働発電制度
地域コミュニティ版コーディネーターによる調査が行われました。



地域・スタッフ説明会

地球が温暖化したのは、なぜ？
省エネは必要？おひさま発電所づくりの「なぜ」を共有して、スタートです。



パネル設置完了



寄付募集



パネルの裏に寄付をしてくださった方々のお名前を記しました。

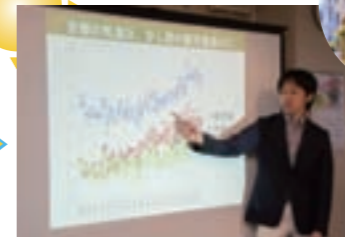
点灯式

いよいよ、おひさま発電所のお披露目です。

START!!



ミニ講座



「京都でも平均気温は上がってきている。」
やっぱりおひさま発電所は必要、とみんなが納得のミニ講座でした。

点灯



ネギトバちゃんも一緒にスイッチON。初めて、おひさまパワーの明かりが灯りました。

みんなで記念撮影



看板贈呈式



おひさまのパワーのかたまりのような杉の板には、「上鳥羽北部いきいきおひさま発電所」と描きました。きょうとグリーンファンドからのプレゼントです。

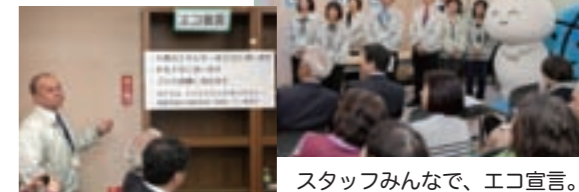


ちきゅまる
京エコロジーセンター イメージキャラクター



ネギトバちゃん
上鳥羽 イメージキャラクター

エコ宣言



スタッフみんなで、エコ宣言。
ネギトバちゃんと一緒に決意表明です。

設備見学

新しくついた機器類。
停電の時も役に立ちます。

表示盤

今、どの位発電しているか。
刻々と変わる表示にみんな興味津々です。



スタッフのみなさん
お疲れさまでした。

事業の概要

この事業は、中唐戸児童館運営委員会（京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター指定管理者）と認定NPO法人きょうとグリーンファンドが協力して、平成27年度京都市太陽光発電屋根貸し制度により京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センターの屋上を借り受け、市民共同で太陽光発電設備を設置したものです。費用は、市民からの寄付や中唐戸児童館運営委員会の資金等でまかないました。設置後は、京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センターが環境に配慮した施設となるよう、きょうとグリーンファンドも協力して取り組みを進めていきます。

後援：京都府、南区上鳥羽自治連合会、上鳥羽社会福祉協議会、上鳥羽自主防災会、あんしん・あんぜん上鳥羽推進委員会、上鳥羽学区各種団体（少年補導委員会、防犯推進委員会、地域女性会、末広会連合会、保護司会、民生児童委員会、交通安全対策協議会、体育振興会、消防分団、保健協議会、遺族会、梅生会、中唐戸児童館、上鳥羽南部いきいき市民活動センター）、京都府地球温暖化防止活動推進センター、特定非営利活動法人 KES 環境機構、京のアジェンダ21 フォーラム、公益財団法人 京都市環境保全活動推進協会、特定非営利活動法人 きょうとNPOセンター

協力：認定NPO法人気候ネットワーク、認定NPO法人環境市民、(有)ひのでやエコライフ研究所

発電所データ

施設場所	京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター
設置日	2016年4月5日
発電能力	10,23kW（設置パネル62枚）CIS 薄膜系
予想発電量	約10,000kWh/年
総事業費	約554万円
寄付額	97件 546,000円

設置までの経緯

京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センターは、2015年度は、「上鳥羽夏の夜市」や「餅つき大会」でリユース食器の採用とごみの減量に取り組み、大幅なごみの減量を達成しました。「クリスマスの集い」ではエコ教室を開催、またグリーンカーテン講習やクールシェアスポット、雨水タンクの設置など環境に対する取り組みを積極的に推進してまいりました。

近年の地球温暖化を起因とした異常気象による災害が多発する状況を目の当たりにして、当センターに地域の防災拠点および避難所としての設備を整える必要性を痛感すると共に、環境保全の重要性を再認識いたしました。

当センターが、地域の皆様と共に「環境にやさしい上鳥羽」を目指すため、「京都市太陽光発電屋根貸し制度」を活用し、当センター屋上に「上鳥羽北部いきいきおひさま発電所」を設置することになりました。



京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター

いきいき市民活動センターは、趣味の活動や地域の集会・育児サークルなど、誰もがいきいきと活動できる機会と場所を提供する施設です。また、京都市や地域自治体・市民活動総合センターと連携し各種広報や市民活動に関する情報提供を実施しています。市民による自主的なまちづくりを促進し、事業を通じて皆さんと共に豊かで活力ある地域づくりを目指しています。当センターも、地域の皆さんのいきいきした活動をお手伝いするとともに、平成27年度からは環境に対する取り組みを積極的に推進してまいりました。おひさま発電所の設置を機に、新年度もエコ活動の推進と地域の防災施設としての役割を担えるよう努めてまいります。

認定NPO法人 きょうとグリーンファンド

きょうとグリーンファンドは、省エネ型の社会と暮らしをめざし、自然エネルギーの普及に取り組んできました。寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となる「おひさま発電所」を広げていきたいと、これからも活動を続けていきます。2016年4月までに19カ所のおひさま発電所ができました。

京都市中唐戸児童館運営委員会

（京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター指定管理者）

〒601-8107 京都市南区上鳥羽南唐戸町28

TEL：075-672-2900

FAX：075-672-2907

特定非営利活動法人（認定NPO法人）

きょうとグリーンファンド

〒600-8191 京都市下京区五条高倉角塚町21番地

事務機のウエダビル206

TEL・FAX：075-352-9150

E-mail：info@kyoto-gf.org

URL：http://www.kyoto-gf.org



この印刷物は自然エネルギー（太陽光）を活用して印刷しました。

2016年5月発行